

受付番号	2025-32		
許可番号	大歯医倫 第 111424 号		
研究課題名	レセプトデータベースを用いた口腔がんの精神疾患発症に関する疫学研究		
研究責任者	河村 佳穂里	申請者	河村 佳穂里
研究終了日	2028年3月31日		
所 属	口腔衛生学講座	所 属	口腔衛生学講座
職 名	講師	職 名	講師

申請の概要

口腔または咽頭がんの患者は、摂食・嚥下、発声、呼吸、嗅覚、味覚、さらには審美的側面に至るまで多様な機能障害を呈する。これらの機能障害は他のがんよりも深刻であり、患者の生活の質（QOL）を著しく低下させる。さらに、口腔がん患者では精神疾患の発症リスクが高く、一般集団に比べ自殺リスクが3~4倍高いことが報告されている。

先行研究では、頭頸部がん患者における精神疾患の発症率は6~48%と報告されており、家族構成や性別、嚥下障害、う蝕、聴覚障害などが発症に関与すると示唆されている。精神疾患の発症は、治療アドヒアランス低下、治療抵抗性、疼痛閾値低下、身体症状の増悪、入院期間の延長などを引き起こし、結果として予後不良の要因にもなりうる。

特に口腔がん患者は、手術・放射線・化学療法といった侵襲的治療を受けることが多く、顔貌変化や構音障害、嚥下障害などに加え、心理的ストレスの増大が報告されている。したがって、口腔がん患者における精神疾患の有病率やリスク因子を明らかにすることは、適切な診療体制構築やQOL向上に寄与すると考えられる。本研究の目的は、口腔がん患者におけるうつ病および不安障害の発症率を明らかにし、患者背景・治療内容との関連を検討することである。さらに、年齢・性別でマッチングした健常者コントロール群を設定し、患者群とコントロール群を比較することで、がん診断や治療が精神疾患発症に与える影響をより明確にする。